

平成 25 年第 4 回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 9 月 11 日 (12 日・13 日)

	質問者	質問項目 (答弁者)
1	富田 牧子 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1. 学校教育力支援事業について (教育長)</u>                      本年 2 月から、児童・生徒の学校生活を支援する目的で、これまでのスクールサポーター以外に、学習や通訳サポーターが 16 名配置された。この半年間の成果と次年度以降の学校教育力支援事業の取り組みについて問う。</p> <p><u>2. 急傾斜地崩壊対策事業の今後の計画について (建設部長)</u>                      可児市では、昨年 12 月 28 日に土砂災害危険区域が指定された。指定を受け、危険性は認知されたが、危険度が減ったわけではないので、今後、どのように急傾斜地崩壊対策を進めていくのか。</p> <p><u>3. 空き家等の適正管理について (建設部長)</u>                      本年 4 月から、定住人口の増加と地域の活性化を図ることを目的として、空き家・空き地バンクが設立された。この制度の進捗状況と放置されたままの空き家等の適正管理についての考えを問う。</p>
2	伊藤 英生 (民主ネット可児)	<p><u>1. MEDICA 導入についての考えを問う (健康福祉部長)</u>                      救急医療情報カード MEDICA の導入が拡大している。既に県内のドクターヘリ、救急車両全台に専用の読み取り端末が配備され、救急時の患者の基本情報収集で成果を上げている。市としても普及を推進するべきだ。</p> <p><u>2. ネットいじめにどう対処するか (市民部長・教育委員会事務局長)</u>                      近年、インターネットや SNS などを使ったいじめが深刻化している。こうした匿名性・閉鎖性の強い世界でのいじめ問題の可児市内での現状と、可児市子どもいじめの防止に関する条例のもとでの対策について問う。</p> <p><u>3. 今渡鳴子西交差点北側の安全対策は (建設部長)</u>                      今春トンネルより少し南の坂戸地区から北へ延びる市道 54 号線は、今渡鳴子西交差点より北側へ 50 m 程度のところで道路幅が狭くなっており、周辺の交通安全上、様々な問題が発生している。市としての対応を問う。</p>
3	澤野 伸 (誠颯会)	<p><u>1. 「生活保護基準の引き下げ」に対する本市の影響と対応について (健康福祉部長・教育委員会事務局長)</u>                      生活保護制度の根幹である生活扶助を今年 8 月から引き下げた。3 年間で生活保護基準を 6.5% 引き下げる。保護基準を参考に給付金額を改定する制度など影響が多岐にわたる可能性がありその影響と対応について問う。</p> <p><u>2. 本市の小中学校トイレの洋式化への取り組みは (教育委員会事務局長)</u>                      家庭の洋式トイレの普及に伴い、学校での和式トイレ利用を敬遠する子どもたちが増えてきた。公共施設トイレの洋式化が進んでいる現状を鑑み、小中学校も改修しては。</p>

	質問者	質問項目（答弁者）
4	天羽 良明 (誠颯会)	<u>1.教育長のあり方について（教育長）</u> 教育長の突然の辞任の理由と教育長の選任方法の在り方について、本市の教育の未来について
5	野呂 和久 (可児市議会 公明党)	<u>1.災害時のペットとの避難について（総務部長）</u> ペットを飼う理由は、人様々です。番犬として、又は家族の一員と考えている方も見えます。災害時にペットといっしょに避難所へ。そこには、様々な飼い主としての責任が発生します。その支援策について問う。
6	山田 喜弘 (可児市議会 公明党)	<u>1.健康マイレージの取り組みについて（健康福祉部参事）</u> 健康診断の受診やスポーツ活動への参加などでポイントをためると特典を利用することができる「健康マイレージ」の取り組みが注目されている。本市の取り組みについて問う。  <u>2.子どもの生命を守る取り組みについて（教育委員会事務局長）</u> 子どもの緊急医療情報などを「子ども安心カード」に記載し、消防と教育委員会の連携や防災ヘルメットの配備による、子どもの生命を守る取り組みについて問う。  <u>3.土曜授業の取り組みについて（教育長）</u> 土曜授業に関する検討チーム中間とりまとめを踏まえ、土曜の教育環境を豊かにする必要があるとの文部科学大臣の考えが示された。本市の土曜授業の取り組みを問う。
7	板津 博之 (誠颯会)	<u>1.溶融スラグの利用促進を（市民部長）</u> ささゆりクリーンパークから出る溶融スラグの発生量は近年増加傾向であるのに対し、再利用率は年々減少している。今後のスラグ利用促進について、本市及び可茂衛生施設利用組合としてどのように考えているのか。

	質問者	質問項目（答弁者）
8	伊藤 健二 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1.市道交通改良と根本的対策を（建設部長）</u> 市道50号線の地下道～虹ヶ丘橋までの交差点改良と信号設置、通行止め時の迂回路確保が課題となってきた。交通量が増加し、非常時には弱点となっている。本計画が進捗しない原因、問題の対策を示せ。</p> <p><u>2.可児市地域防災計画見直しについて（総務部長）</u> 可児市地域防災計画の見直し策定にあたり、その考え方について、問う。</p> <p><u>3.市民の立場で国保医療を守ろう（健康福祉部長）</u> 国は、消費税増税と社会保障の切捨て一体改革のため、国保医療を県単位に統合して財源を市にしわ寄せし、医療費の抑制を狙っている。市は、国と岐阜県に要求事項を明確にすべきだ。</p>
9	山口 正博 (誠颯会)	<p><u>1.水道料金の見通しと今後の方針は（水道部長）</u> 6月岐阜県議会において、知事が水道料金について1割程度の値下げが可能と考えており、水道料金の設定について関係市町と協議を進めて行きたいとのことでしたが、それを受けて本市の見通しと今後の方針は。</p> <p><u>2.生活困窮者自立支援の取組は（健康福祉部長）</u> 生活保護受給者の内、約25%の世帯に「貧困の連鎖」が生じている。就労可能な者に対して、就労・相談支援を行うことにより、生活困窮状態からの脱却を可能にする支援制度構築のための取組についてお伺いします。</p>
10	山根 一男 (民主ネット 可児)	<p><u>1.その後の新滝ヶ洞溜池の水質異常対策について（建設部長）</u> 新滝ヶ洞溜池の水質異常事件が起きてから10年になる。その後の対策で周辺住民の安全安心は確保できているのか。現在の状況および、今後の対策を問う。</p> <p><u>2.可児駅自転車駐車場の稼働状況はどうか。（建設部長）</u> 可児駅自転車駐車場がオープンして1年以上になる。実際の利用状況はどうか。合わせて放置自転車等の撤去状況は。特に当初から西側施設の利用料金が高いという声があったが、その後の対応は。</p> <p><u>3.当市における再生可能エネルギー活用状況について（市民部長）</u> 福島原発の事故を踏まえて、再生可能エネルギーの利用推進は、地域にとっても喫緊の課題となっている。現在の当市における太陽光を中心とした活用状況並びに今後の展望を問う。</p> <p><u>4.可児市セクハラ訴訟から学ぶものは。（総務部長）</u> 可児市セクハラ訴訟についての最高裁判決が間もなく下される。結果がどう出ようとも、このような訴訟が起きたことによる可児市の信頼失墜は免れない。</p>

		今後、信頼回復に向けどのように取り組むのか。
--	--	------------------------

**この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。**